

## 韓国からブレインリハビリテーションを視察訪問

8月11日に韓国で介護事業のコンサルタント及び施設運営を行っているANGEL HOMECARE代表理事の金燦雄さんと副社長の李逸鎔さんが当協会会長の永田を訪れました。

ANGEL HOMECAREは、特に認知症に対して力を入れており、韓国政府への認知症コンサルタントも行き、教育に関しては政府の支援を受けて取り組んでいます。その他、健康増進事業においては、筑波大学と提携して韓国で健康増進の普及を行っています。金さんは世界中の認知症ケアを勉強され、その中でもブレインリハビリテーションに最も注目され訪問先に当協会を選ばれたそうです。

金さんらは、永田会長から日本の認知症リハビリ制度・ブレインリハビリテーションの開発経緯等の説明を受けさらに今後の両国の認知症の改善・予防に関する意見を交わしました。また、実際にブレインリハビリテーションを体験し、デイケアでの実際の場面も見学されました。

金さんらは、視察後「高齢者に使いやすく、楽しみながらでき、職員の労力も軽減できすばらしい。視察前にイメージしていたことよりも素晴らしいものであることがわかりました。この経緯をすぐに、韓国政府に報告し、1日も早く韓国全土に普及させたい。」とコメントをいただきました。

韓国へ帰国後、金さんから「ブレインリハビリテーション協会を強力なパートナーとし韓国全土にブレインリハビリテーションを普及させたい。」と連絡を受けました。

